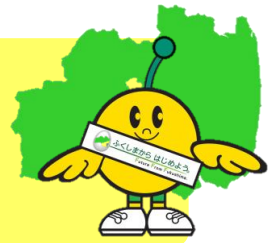


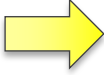
福島県年次経済報告書

(平成30年)









平成30年の1年間の各種指標の動きを「福島県年次経済報告書」としてまとめたものです。

■平成30年福島県経済概況■

総合判断 判断変化方向 	平成30年(2018年)の福島県経済は、建設需要において減少傾向がみられたものの依然として高い水準にあるほか、雇用・労働などが堅調に推移するなど、全体としては緩やかな持ち直しの動きが続いた。
--	---

■個別判断■

分野別	変化方向	判断
個人消費		総じて堅調な動きが続いたものの、一部に弱い動きがみられた。
建設需要		復興需要は高水準が続きながらもピークが過ぎ、新築住宅着工戸数は減少が続いた。 公共工事及び業務用建築物着工工事は持ち直しの動きがみられた。
生産活動		一進一退の状況が続いた。
雇用・労働		雇用は改善が続いた。 労働は緩やかな回復傾向がみられた。
物価		企業物価指数、消費者物価指数はともに上昇した。
企業・金融		企業倒産は、増加傾向が続いた。 金融機関預貸残高は、預金残高が減少傾向が続いたものの、貸出残高は高止まりの動きがみられ、貸出金利は下降した。

福島県年次経済報告書(平成30年)のポイント

- § 平成30年の福島県の経済を振り返ると、建設需要において復旧・復興工事がピークを過ぎ減少傾向が続きながらも、雇用・労働や物価が堅調に推移し、緩やかな持ち直しの動きが続いた。
- § 建設需要…新設住宅着工戸数における貸家の減少により前年を大きく下回ったほか、公共工事請負金額、業務用建築物着工工事費についても前年を下回った。
- § 生産活動…鉱工業指数(原指数)は一進一退の状況の中で、生産指数及び出荷指数は前年を下回り、在庫指数は前年を上回った。
- § 雇用・労働…現金給与総額指数は前年を下回ったものの、求人倍率や所定外労働時間指数などが前年を上回り、雇用保険受給者実人員は前年を下回った。

福島県企画調整部統計課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

電話 024-521-7148

E-mail toukei@pref.fukushima.lg.jp

